

## 2015-2016 年度市原中央RC第6回理事会議事録

日時 2015年12月1日11時から

会場 五井グランドホテル会議室

出席者:守屋、田仲、井上、池田、大西、三好、千葉、武田、宮寺、鈴木(幸)、時田

欠席者:田中、鎗田、藤田、谷川

## 議事

議長:会長

## ① 1月プログラムについて

プログラム委員長

プログラム通り承認された。

## ② クラブ運営要綱について

会長

運営要綱案は承認されたので12月8日例会で周知し2016年1月から実施する。

## ③ 横浜山手RC合同クリスマス夜例会について

親睦委員長

現在参加者が23名なので今日いっぱい募集を続ける。

プレゼント交換1000円×人数の提案が横浜山手からあった場合には親睦予算から支出する。

## ④ 国際大会登録者について

幹事(国際奉仕委員長)

クラブでの募集は宮寺、守屋、時田、井上、及川5名、大倉さんの募集と合わせ12月8日までに確定させる。登録は幹事が事務局に指示をして行う。

## ⑤ 事務局員の賞与について

会長

例年通り7万円支給することが承認された。

## ⑥ 市原商工会議所賀詞交歓会について

幹事

参加費はクラブ負担であることが承認された。

## ⑦ フィリピン医療奉仕の地区補助金申請について

幹事

地区補助金申請書案を作成したので内容を確認していただき1月の理事会で承認を得る。30周年を記念しての支援という名目で今回限りという条件で認めるか検討する。

## ⑧ グローバル補助金事業について

幹事

理事会の承認を得ないで現地調査を行ったことについて、出席理事の意見の要旨は概要下記の通り。

- ・対外的には市原中央RCの名前の元に行うので慎重に進めて欲しい。事実関係の先行で後戻りできなくなるか。
- ・先方で内容が固まってから、イエス・ノーを答えれば良いのではないか。
- ・後で梯子をはずすような事態は避けるべきである。誤解を招くのは良くない。
- ・11月24日の例会での説明時に会員からでた疑問点・懸念については丁寧に説明し納得性を高める必要がある。
- ・予算のガイドライン1000ドルでよいですね。

- ・日本国内の他のクラブと合同で行う場合には、主幹事を何処にするか決めた方が良い。
- ・30周年事業の一環で行いたいのなら三好会長エレクトの了解のもとに進めるべきである。あるいは30周年記念事業をすすめる委員会のなかで了解を取るべきである。
- ・地区の悪弊として、予算の消化のための奉仕事業という姿勢がある。その流れの中で進めるとしたら本末転倒である。その風潮に注意すること。
- ・計画の内容がわかりにくい。よく理解できない。以前話のあったドリンクウォータープロジェクト etc.との関係はどうなっているのか。もう少しわかりやすい計画書が欲しい。
- ・はるばるインドネシアまで行って活動する意味と必要性があるのか。日本国内・市原市内での奉仕活動を探すべきではないか。

本件については1月も継続審議することとなった。

- ⑨ 事務局員の労災保険加入について 幹事  
12月8日加入するように準備する。
- ⑩ 2016-2017年度地区委員長並びに委員推薦のお願い 幹事  
推薦者・立候補者はいなかった。
- ⑪ 地区大会における選挙人選出のお願い 幹事  
例年通り会長、幹事が選挙人となる。
- ⑫ 第10回更科旗剣道大会の後援承認申請の件 幹事  
後援することが承認された。
- ⑬ 第10回更科旗剣道大会開会式参加の件 幹事  
会長が参加することを確認した。最近では市原RCとの輪番の挨拶はないとのこと。
- ⑭ 平成28年新春スポーツ懇親会参加の件 幹事  
初めての案内なので、欠席とする。
- ⑮ 習志野中央ロータリークラブ創立30周年記念式典の件 幹事  
会員に配布する。分区外なので登録料は個人負担とする。  
パストガバナーはクラブ負担とする。

以上